



シルバーカー

テノール EVO

〔取扱説明書〕 〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

△この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。) 使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し購入されることをお勧めします。なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、十分ご理解された上、ご使用ください。

目次

警告事項	1	キャスターの操作方法	5
注意事項	1~2	ブレーキの調整方法	5
各部の名称	3	腰掛け方	6
車体のひろげ方	4	傘止めバンドの使い方	6
車体の折りたたみ方	4	故障かなと思ったら	6
ハンドルの高さ調節	4	保証書	7
ハンドブレーキの操作方法	5	SGマーク	7
駐車用ストッパの操作方法	5		

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所

サービス係

☎06-6793-0991

**ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。**

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。
室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ及び夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがあります十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをお勧めします。
- 車体の組立て及び調整は確実に行ってください。
- 必ず固定用のロックが確実にかかっているか確認してください。折りたたみ用レバーを下げると、固定用のロックがかかります。固定用のロックがかかっていると車体が折りたたまれ大変危険です。
- 車体を片手で押して使用しないでください。
- ハンドルの高さ調節部（左右）が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみ前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパを左右両輪にかけ、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外のところには座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、車輪及びブレーキタイヤ押さえの摩耗等を十分に確認して使用してください。

※使用中

- 最大使用者体重は 90kg です。ご使用される方の体重が 90kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- カゴの載荷重は 2kg です。2kg を超える荷物は載せないでください。
- カゴ以外のところに荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をカゴ内に乗せないでください。
- 車体の組立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐車用ストッパがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体から離れるときは、必ず駐車用ストッパをかけてください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 用途以外には使用しないでください。

※使用後（保管・お手入れ）

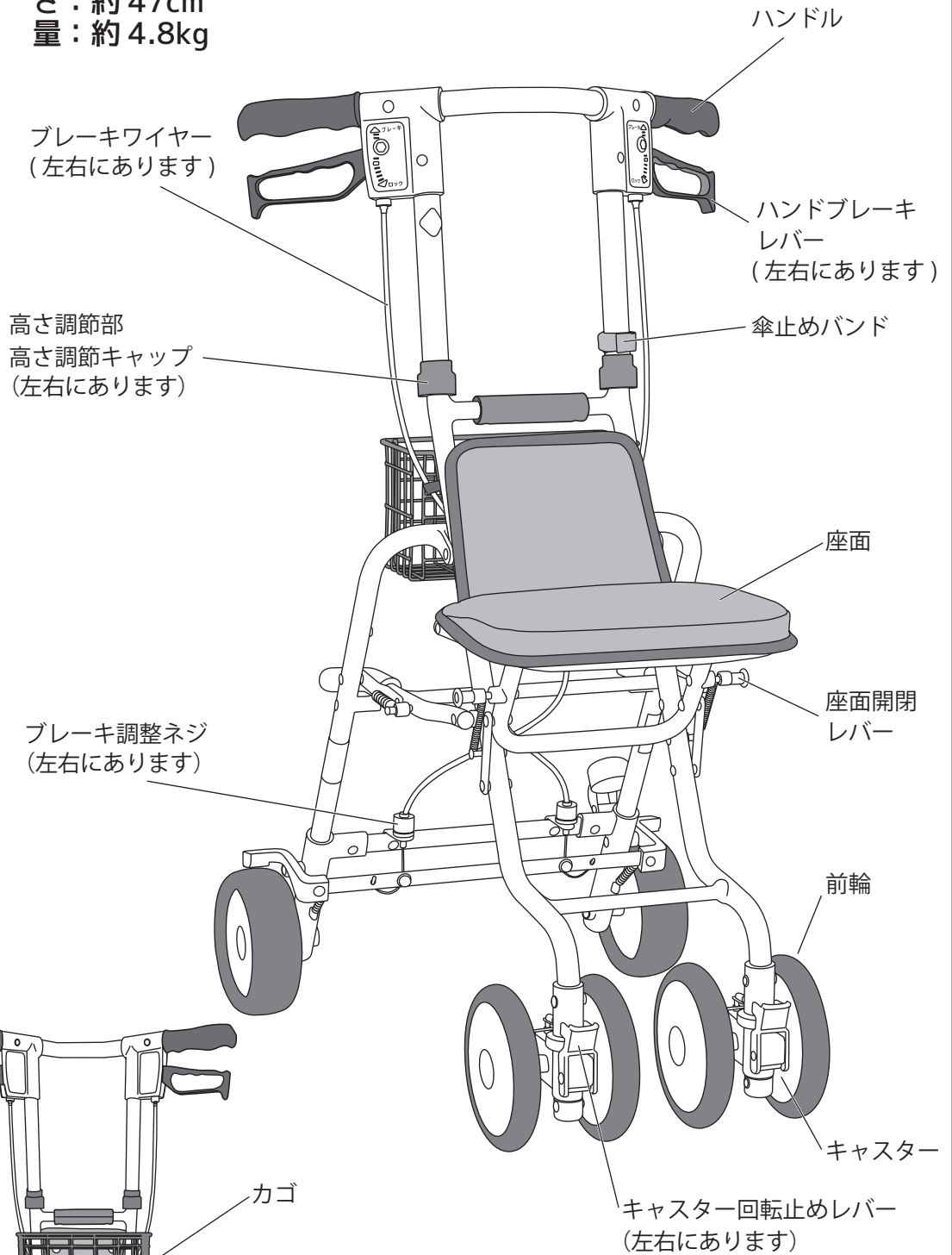
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で水分を取り、拭き取ってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・カゴを拭かないでください。
- 使用後はフレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず汚れを拭き取って落としてください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、屋内で保管してください。
- 駐車用ストッパをかけた状態で保管された場合は後輪が凹んでしまう恐れがあります。駐車用ストッパをかけない状態で車体を折りたたんでも自立できる水平な場所での保管をお勧めします。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、回転及び車体の組立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口や消火器、消火栓の前に放置しないでください。
- 定期的に各部（車輪およびブレーキなど）の破損、緩み、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどが緩んでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。

※廃棄について

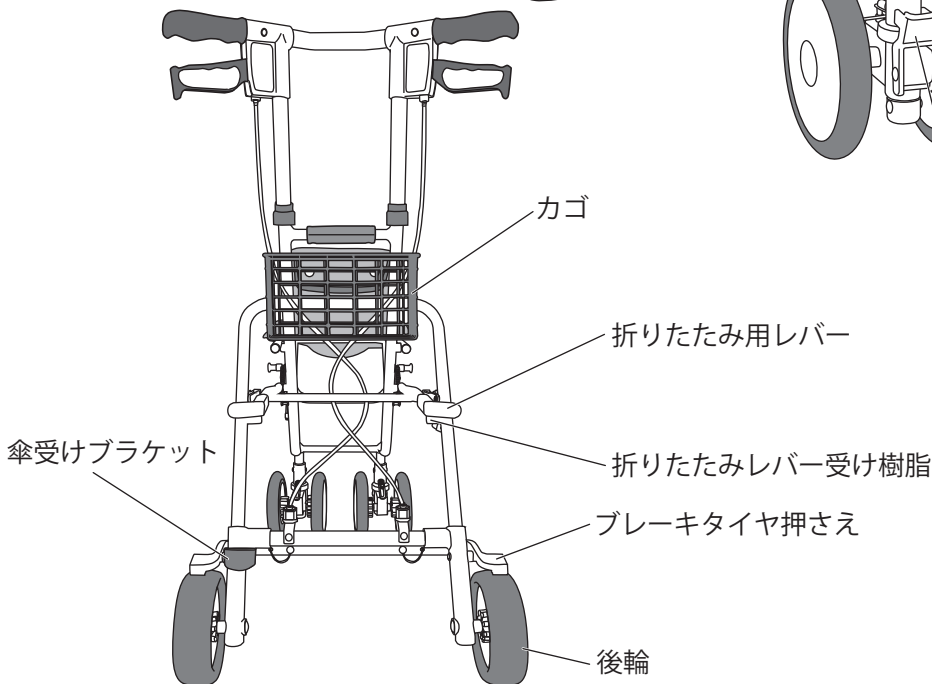
- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

使用時サイズ：約 H90~99×W46×D61.5cm
 収納時サイズ：約 H98×W46×D34cm
 座面高さ：約 47cm
 重量：約 4.8kg



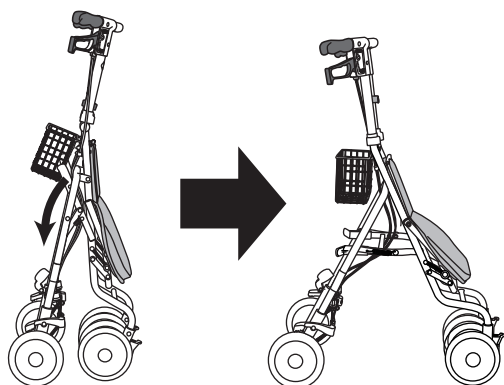
● 後方



車体のひろげ方

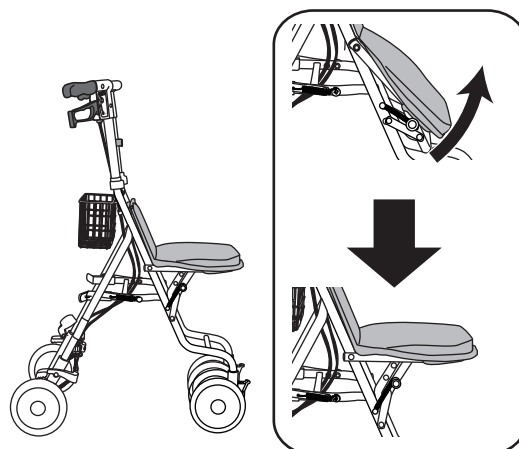
1 折りたたみ用レバーを下にさげきってください。そうすれば車体に固定用のロックがかかります。

- 注**
- 車体をひろげるときに指をはさまないように注意してください。
 - 左右の折りたたみ用レバー受け樹脂に確実に折りたたみ用レバーが乗っていることを確認してください。



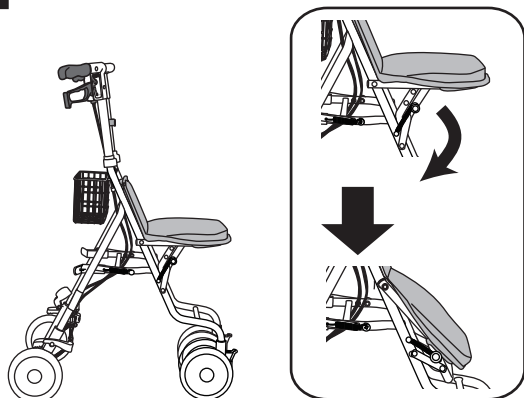
2 座面開閉レバーを矢印の方向に上げきってください。

- 注** 座面が折りたたまれないことを確認してください。



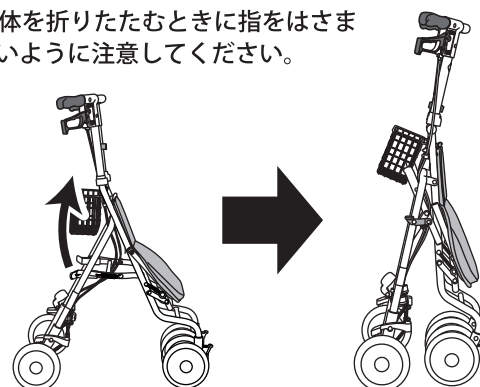
車体の折りたたみ方

1 座面開閉レバーを矢印の方向に下げきってください。

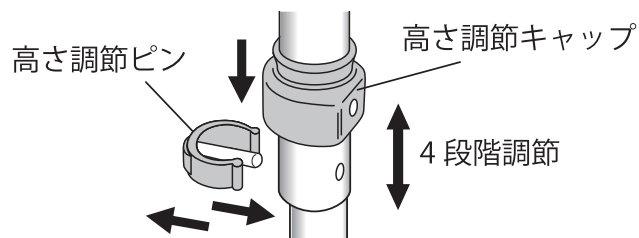
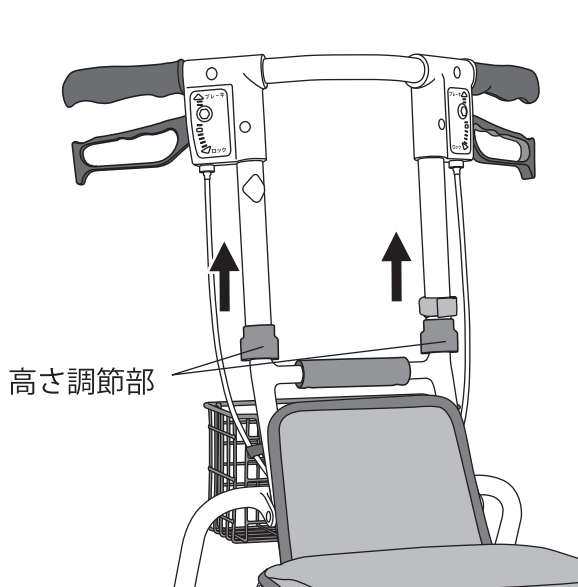


2 折りたたみ用レバーを上にあげきってください。

- 注** 車体を折りたたむときに指をはさまないように注意してください。



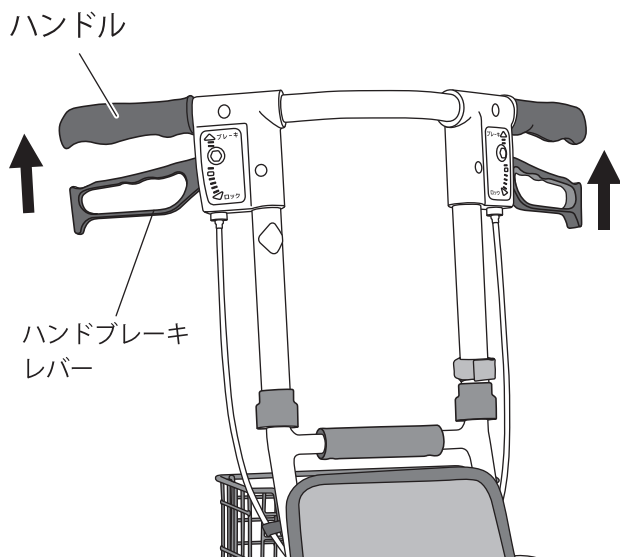
ハンドルの高さ調節



1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
2. 高さ調節ピンを抜いてください。
3. 4段階から、お好みの高さに合わせたら、左右の高さ調節ピンをしっかりはめこんでください。
4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

- 注**
- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。
 - 高さ調節を行うとき、高さ調節ピンが落ちないように注意してください。
 - ガタつきがないか確認してください。

ハンドブレーキの操作方法



分離ブレーキ

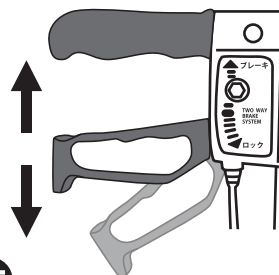


●ハンドブレーキを使用するときは、左右のハンドブレーキを同時にかけてください。片方だけをかけたときに反対側の車輪だけが旋回して転倒する恐れがありますので十分注意してください。

ハンドブレーキレバーを握れば、後輪（左右）にブレーキがかかります。

- 注**
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
 - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようにはかからないので過信しないでください。
 - ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがかりにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

駐車用ストッパの操作方法

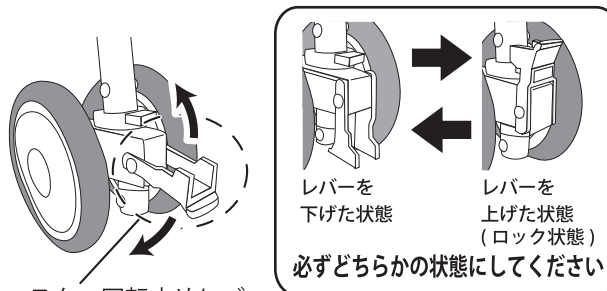


1. ハンドブレーキレバーを下に下げると、後輪にストッパがかかります。
2. ハンドブレーキレバーを上にあげると、駐車用ストッパが解除されます。

- 注**
- 駐車用ストッパのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車体から離れる場合は、必ず駐車用ストッパをかけてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けないでください。
 - 駐車用ストッパのロックを解除するときは、ハンドブレーキレバーのはね返りで指や手をぶつける恐れがありますので十分注意してください。

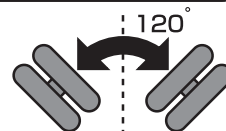
キャストの操作方法

キャスト回転止めレバーを下げると、曲がる方向に力を入れれば左右各 60° の角度で車輪が方向転換します。直進状態でキャスト回転止めレバーを上げるとロックがかかります。（方向転換ができなくなります）



キャスト回転止めレバー

- 注**
- キャスト回転止めレバーが左右同じ状態か確認してください。



ブレーキの調整方法

※車体の初期設定はブレーキの調整がされている状態です。

※調整するときは左右両方のブレーキ調整を行ってください。

1 ⑤と後輪のすき間が約 2mm 位になるように調整してください。

2 ブレーキをきつくしたいときは②を緩め、①を「しまる」方向に回して調整し、②を締めてください。ブレーキを緩めたいときは、②を緩め、①を「ゆるむ」方向に回して調整し、②を締めてください。

●左の方法で調整が効かない場合は①を始めの状態（ブレーキを調整する前）に戻し、④を穴から抜いてください。③のナットを緩め、⑤を手で押さえ、後輪とのすき間を約 2mm 位にし、④を下方に引っ張り、③のナットを締めてください。締めたあとは④を穴に入れ、図 1 の状態にしてください。

図 1

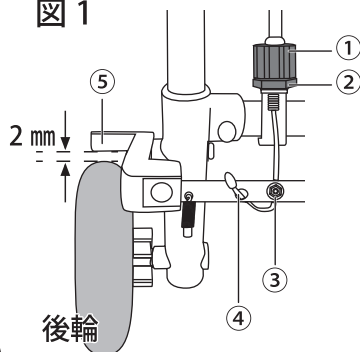


図 2

ブレーキをきつくする場合
ブレーキを緩める場合

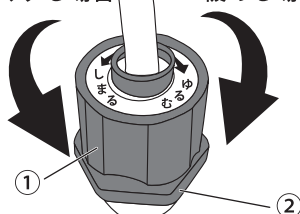
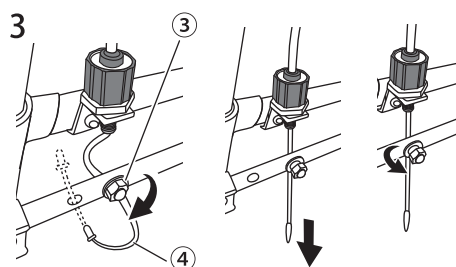


図 3



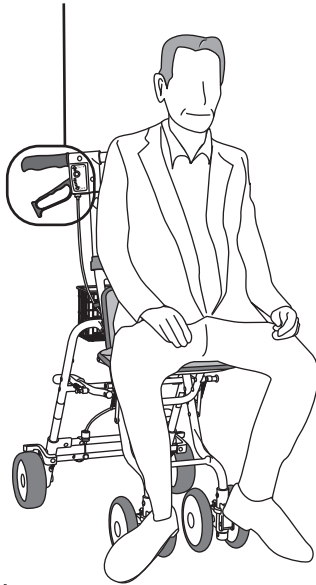
腰掛け方

駐車用ストッパをかけ、(P.5 駐車用ストッパの操作方法参照) 座面を下ろして、体重が均等に加わるように座面中央にお座りください。

注

- 車体が完全に開いた状態で固定されているか確認してお座りください。(P.4 車体のひろげ方参照)
- 駐車用ストッパがかかっているか確認してください。(P.5 駐車用ストッパの操作方法参照)
- 浅く座ったり、後方に力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれる恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は 90kg です。体重が 90kg を超えられる方はご使用になれません。

駐車用ストッパがかかった状態

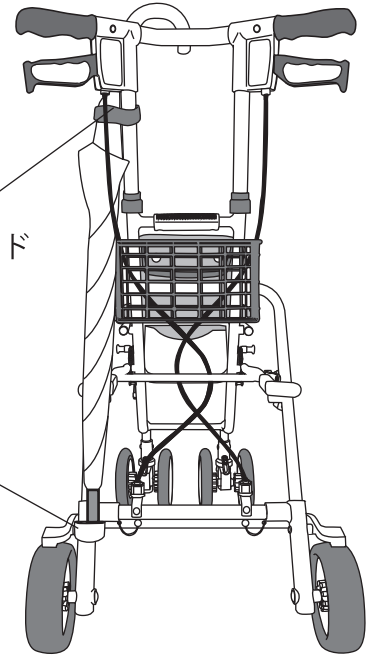


傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘に巻き固定してください。

傘止めバンド

傘受けブラケット



注

傘を巻くときは傘止めバンドでブレーキワイヤーと一緒に巻きこまないように注意してください。

故障かなと思ったら・・・

状況	原因	対処方法
ハンドルがグラグラと動く	①ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	①ハンドル高さ調節部分の高さ調節ピンが、穴にきちんとセットされているか、確認してください
駐車用ストッパまたはハンドブレーキが効かない	①バネの劣化 ②車輪の摩耗 ③ブレーキタイヤ押さえの摩耗 ④車輪の破損 ⑤連結部のサビ ⑥ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①バネの交換 ②車輪の交換 ③ブレーキタイヤ押さえの交換 ④車輪の交換 ⑤潤滑油を注油する ⑥ブレーキワイヤーの交換
固定用のロックがかからない ※固定用のロックについては4ページ 車体のひろげ方を参照してください	①折りたたみ用レバーの変形 ②車体の歪み	ご購入販売店に製品の点検、修理、パーツ交換を依頼してください
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター（前輪）を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください ②バネの交換
その他、車輪の交換や車体の破損など		ご購入販売店に製品の点検、修理、パーツ交換を依頼してください

破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのままご使用せず、ご購入販売店に点検、修理、パーツの交換を依頼してください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので
ご了承ください。

MADE IN VIETNAM 29.07



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書